

<真剣味>69

2017.3.3

『今まで参加したことのない大会に参加する』

野球シーズンの慣らし！

いきなり本大会というわけにはいきません。何故なら、いま何ができるかできないか確認しないといけない。また、練習したことが身についているか否かの確認も必要である。今年のチームの特色が出ているかどうか、などチーム作りには欠かせない内容です。そのための「慣らし・準備作業」、それが3月からのシーズンになると思います。

3月4日（土）、5日（日）茨城遠征・19日（日）、20日（月）宮城遠征・25日（土）、26日（日）長野遠征となります。昨年試合をして終わりたかった時期に上手く終われず、とても残念な気持ちで一杯でした。それもあり例年より遠征の機会を多く設定してもらいました。

最終目的を十分に意識しながら練習や試合に取り組み、個人・チームのレベルアップに努めてもらいたい。

とにかく後でやっておけばよかったという空気を作らないためにも、しなければならないこと、やろうと思っていることはより積極的に取り組む。また恥ずかしいとか誰かがやってくれるだろうなどという後ろ向きの考えは捨て、今必要なことは直ぐに取り組む。そんなプラス思考の考え方で行動させたい。

<最近、メモしたくなった言葉>

- ①無くしてみて、初めて分かるそのものの大切さ。
 - ②友人のミスを自分に置き換えて考えると、新しい自分の発見に繋がるかもしれない。
 - ③試合は一人でやるものではない。だから仲間との協調性が必要になる。
 - ④不安にならないためにも、不可能はないという気持ちで取り組む。
 - ⑤怪我をした時に、自分の生活を振り返ってみると、準備不足だったと思うことがよくある。
だから時間ぎりぎりの生活でなく、余裕を持って行動することが必要になる。そして時間がない時には、今日は活動しないという勇気ある判断も必要になる。
 - ⑥新潟は広い、日本はもっと広い、そしてそこには思いもつかない強いリトルシニアのチームがあるはず。だから、今の状態なんかで安心してはいけない。もっともっと突き詰めて考え、今より半歩でもいいから前へ進む。
 - ⑦Back to the Basic（初心に戻れ）ゼロでなければ追及してみるべき！
 - ⑧どんな時にも一つ上の自分を求めて、生活・活動する。
 - ⑨心の重心が浮いているときは、自分の部屋も乱れている。
 - ⑩負けず嫌い、泥臭い努力を惜しまない！
 - ⑪選手が考えて行動する。指示待ちはダメ！
 - ⑫とにかく、求めるのは全国大会への出場。3月の遠征はそのための「慣らし・準備」になる
よう心して野球に取り組む。小さな結果の積み重ねが、本物になっていく。
 - ⑬本気で野球に向き合っていることが大事。結果だけではない。
 - ⑭一度の成功で満足することなく、努力を続ける。
 - ⑮「今まで参加したことのない大会に参加する」。これを達成するには並大抵の努力ではダメです。強い心で挑む。
 - ⑯自分（達）に運が向いて来るには、やはり普段の生活で他から認められるような生活態度、行動が必要である。
 - ⑰起きてしまったことは受け入れないといけない。でも目的（目標）を見失ってはいけない。
どうやって気持ちを立て直すかが大事である。「自分にセカンドチャンス」を与え、失敗を悔やんで立ち止まるのではなく、自分を奮い立たせることが大事である。
- 私は一足早く今年最初の遠征に出発します。安全に行きます。